

# 上士幌町まちづくり行政区アンケート結果

平成23年1月

上士幌町

## もくじ

1	調査の概要.....	1
2	調査結果の概要 .....	2
3	行政区一覧.....	3
4	設問別調査結果 .....	4
	【問1】困っていること、悩んでいること .....	4
	【問2】今後のまちづくりへのご意見・ご提案.....	8
5	調査票.....	12

## 1 調査の概要

このアンケートは、「第5期上士幌町総合計画」を策定するうえで、行政区が抱える問題やまちづくりに関する意見や提案などを把握し、計画に反映するために実施したものです。

調査の実施方法などについては、次のとおりです。

対 象	上士幌町内の行政区
調査期間	平成22年8～9月
調査方法	郵送にて配布、郵送またはファックスにて回収
回収状況	配布数 52 票      回収数 30 票      回収率 57.7%

### 集計・表記方法

- ・比較や順位付けは、回答数ではなく、回答率で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく「高い・低い」の言葉を用いています。
- ・自由記述回答は、回答者の実際の記述事項を整理・要約して掲載しています。同じ内容についてはまとめ、回答数を（ ）で示しています。

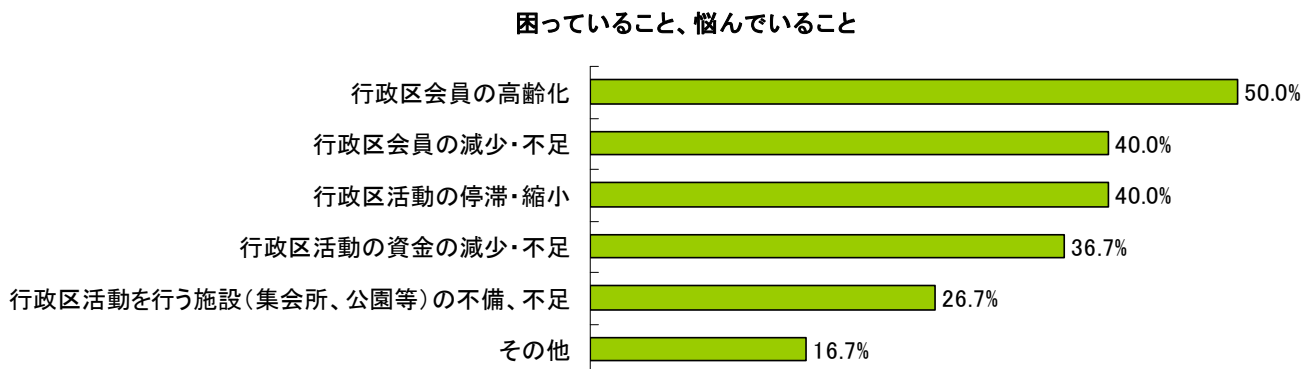
### 調査の実施機関

企画・編集：上士幌町 企画財政課

集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ

## 2 調査結果の概要

### (1) 困っていること、悩んでいることについて



具体的な内容をみると、「行政区会員の減少・不足」と「会員の高齢化」が進み、「活動の停滞・縮小」につながっている状況が多くみられます。また、会員の減少や高齢化が進んでいなくても、仕事が忙しく活動に参加できない人や未加入者の増加が「活動の停滞・縮小」につながっている状況もみられます。

### (2) まちづくりへの意見、考え、アイデアなど

道路の区画・舗装の整備や、行政区名をわかりやすくすることなど、住みやすさに関することが多くあげられています。また、高齢者福祉の充実や高齢者の見守りに関する要望、観光・商業の活性化を望む声があげられていました。

区分	主な記述の内容
道路・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道路の区画整理、舗装整備をしてほしい。</li> <li>・市街地を高速で走り抜ける車が後を絶たない。凸凹舗装や取り締まりなど、何か対策を打てないか。</li> </ul>
観光・商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬のウィンターバルーンの活性化。</li> <li>・上土幌は小さな商店が多いが、子どもや老人も集まれる商業ゾーンを考えてはどうか。</li> </ul>
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養施設の拡充を図り、高齢者や障がいを持つ方の受入れを容易にする。</li> <li>・帯広市では、高齢者宅を訪問し介護の状況を聞き取り台帳化していくようである。当町においても実施してはどうか。</li> </ul>
行政区の再編・統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区画、行政区名の見直し・整備をしてはどうか。</li> <li>・住所標記・行政区名がわかりにくい。</li> </ul>

## 2 行政区一覧

○は、回答のあった行政区です。

1	上士幌第1区	○
2	上士幌第2区	○
3	上士幌第3の1区	○
4	上士幌第3の2区	○
5	上士幌第4区	○
6	上士幌第5区	
7	上士幌第6区	
8	上士幌第7の1区	○
9	上士幌第7の2区	○
10	上士幌第8区	
11	上士幌第9区	○
12	上士幌第10の1区	
13	上士幌第10の2区	○
14	上士幌第11の1区	○
15	上士幌第11の2区	○
16	上士幌第12区	○
17	上士幌第13区	○
18	上士幌第14区	○
19	上士幌第15区	○
20	上士幌第16区	○
21	上士幌第17区	○
22	萩ヶ岡第1区	○
23	萩ヶ岡第2の1区	○
24	萩ヶ岡第2の2区	○
25	萩ヶ岡第3区	
26	萩ヶ岡第4区	
27	萩ヶ岡第5区	
28	清水谷区	○
29	北居辺第1の1区	
30	北居辺第1の2区	
31	北居辺第2の1区	
32	北居辺第2の2区	○
33	北居辺第3の1区	
34	北居辺第3の2区	
35	北居辺第3の3区	
36	東居辺第1区	
37	東居辺第2区	
38	東居辺第3区	
39	北門第1区	○
40	北門第2の1区	
41	北門第2の2区	○
42	北門第3の1区	○
43	北門第3の2区	○
44	上音更第1区	
45	上音更第2の1区	
46	上音更第2の2区	○
47	上音更第3の1区	○
48	上音更第3の2区	
49	豊岡区	
50	勢多区	○
51	ぬかびら源泉郷区	○
52	三股区	

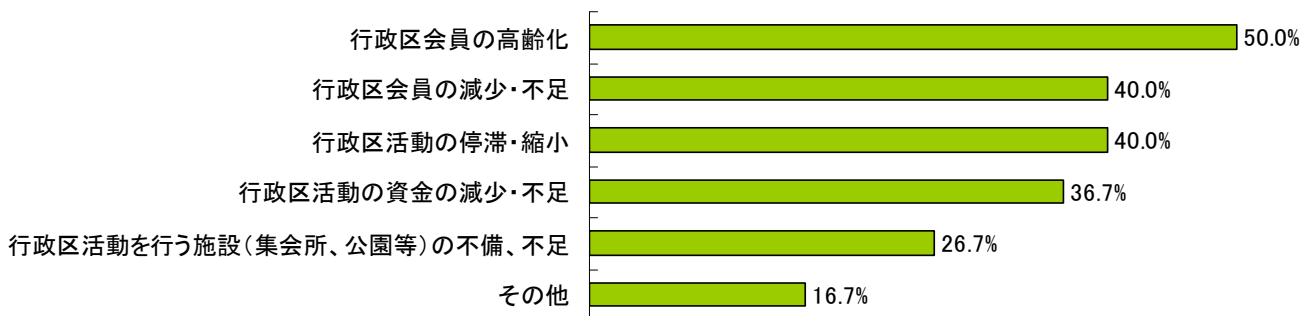
### 3 設問別調査結果

#### 【問1】困っていること、悩んでいること

**あなたの行政区で、現在困っていることや悩んでいることは何ですか。  
あてはまる項目に○をつけて、具体的な内容をお書きください。**

「行政区会員の高齢化」が最も高く、「行政区会員の減少・不足」と「行政区活動の停滞・縮小」が同率で続きます。

#### 困っていること、悩んでいること



その他の回答： 未加入会員の増加  
格別困っている事実なし  
生活道路の砂利道の舗装整備について

#### 《 具体的な内容 》

具体的に尋ねると、「行政区会員の減少・不足」と「会員の高齢化」が進み、「活動の停滞・縮小」につながっている状況が多くみられます。また、会員の減少や高齢化が進んでいなくても、仕事が忙しく活動に参加できない人や未加入者の増加が「活動の停滞・縮小」につながっている状況もみられます。

#### 【行政区会員の減少・不足】

- ・なかなか役員の交代ができない。(上士幌第11の2区)
- ・葬儀の時に手伝いがいない。(上士幌第11の2区)
- ・行政区会員の減少により、各役職とも1人が2役、3役と役職を持たないとやっていけない状態になっている。(清水谷区)
- ・葬儀等において、役員、手伝いが少数で大変。他に手伝ってもらおうと手伝いに行かなければならなくなる。(北門第2の2区)
- ・役場、農業委員会、農協系など、いろいろな役員が多い。一人ひとりが役員を掛け持ち、会議に出席している。(北門第2の2区)
- ・上音更、暁の戸数は5戸である。上士幌本町以外の地域では構成員がすくなく、行政区だけが多数あるという現状である。(上音更第2の2区)
- ・行政区内の戸数の減少で、何をすることも人が少ない。他の行政区と合併するということは無理なのか検討していきたい。(上音更第3の1区)

### 【行政区会員の高齢化】

- ・ 独居家庭の対応策。(上士幌第4区)
- ・ 会員の高齢化にともない、行政区の役員の担い手が少ない。(上士幌第7の1区)
- ・ 独居老人が多く、「ふれあい交流会」を企画するも、個人情報の保護の関係から、人員を把握するのも困難となっており、どじこもり対策としての交流および親睦会も実施することが困難。(上士幌第7の1区)
- ・ 平成22年4月当初の9区会員数は47戸である。このうち高齢者がおられる戸数の割合は50%を超えている。更には、高齢者単身世帯の割合は25%を超え、高齢者がおられる世帯の40%を超えている。高齢者の方の中には、ホームヘルパーによる身の回り生活支援や食事宅配等の援助を受けられている人もいようである。また、お元気な高齢者の方は、隣近所の高齢者の方に声を掛け合ってパークゴルフを楽しみ、その後は皆さんで食事をつくり和やかに懇談されているようである。(上士幌第9区)
- ・ 昨年、マイマイガが大量発生した際、高齢者世帯住宅に付着したマイマイガの除去に当たって、当初は隣近所の皆さんが自宅のマイマイガ除去とともに協力して高齢者世帯住宅のマイマイガ除去に当たっていた。民生委員もその付着状況を調査したようだ。しかし、マイマイガの大量発生が著しく、隣近所では手に負えなくなり、行政区長にこの対応の要請があった。区長は町行政(町民課)から高圧洗浄機を借り受け、更に隣近所に協力をお願いし、勤務先の仕事が終わり、お疲れのところ、帰宅後直ちに高齢者世帯住宅のマイマイガ除去に当たっていただいた。電気と水を使い重量のある高圧洗浄機を駆使しての2時間を超える大仕事で、区長として会員皆さんの積極的なご協力に感謝をしているところである。(上士幌第9区)
- ・ 長い入居者は高齢化が進み、会議の欠席が多く、活動に停滞を生じている。(上士幌第14区)
- ・ 会員も高齢化のため、自治会長、班長も限られた人が交替で行っている。(上士幌第15区)

### 【行政区活動の停滞・縮小】

- ・ 行政区の活動について、他人事と思っているようである。(上士幌第2区)
- ・ 行政区活動の限界(不参加)。(上士幌第4区)
- ・ 会合を開いても、出席率が悪く諸行事に支障をきたしている。(上士幌第7の1区)
- ・ 戸数は多いが、何につけても協力が無い。(特に団地)(上士幌第11の1区)
- ・ 団地の人は出入りが多くあり、町内会に加入しない人が多くなった。(上士幌第11の1区)
- ・ 森林管理署宿舎で成り立っている区なので、数年で居住者が変わることや、若年者、独身者、単身赴任が多く、活動も停滞気味である。(上士幌第13区)
- ・ 公営住宅のために、入・退(の動き)が多く、入居者は割と若い会員(20歳~30歳)が多くなり、会議等の欠席が多い。(上士幌第14区)
- ・ 昔は旅行などをしていたが、最近は花見で済ませている。旅行はマイクロバスを借りて遠出していた。非農家の家があるので、なかなかスケジュールが合わせづらい。活動としては、花見のほか、地鎮祭、新年会ぐらいである。(北門第1区)
- ・ 行政区活動は、この勢多で60年ほど続く春・秋の祭もできない状況である。とても辛いことで、集まると話題になる。(勢多区)
- ・ 農業をやめ、農業以外の仕事をしている人は、特に集まる機会がないと言う。9戸で集まって話ができるようにしたい。(勢多区)

### 【行政区活動を行う施設(集会所、公園等)の不備、不足】

- ・ 「ふれあい交流会」を実施しても、足の悪い人が多いため、集会場にイスを設ける等の配慮が必要

要と思われる。(上士幌第7の1区)

- ・9区行政区内には、通称「9区公園」がある。周辺は住宅地で、この公園が適度な地域空間環境を提供している。春の「花見・焼肉懇親会」の屋外開催は、この公園の一角で行っているほか、年2回の区域内清掃ボランティア活動による飛散ゴミ等の集積分別もこの公園の一角で行っている。この公園は、当9区町内会が事業主体となって、平成20年度に桜・ナナカマドの植樹等の整備を行った。今般、9区役員会において、この公園の更なる整備に関して協議をしたが、当面は新たな施設設備の整備は行わず、現況の公園施設設備をもって適切な管理の継続を求めることとしたところである。(上士幌第9区)
- ・地域住民の最小组織である行政区は今後ますます重要になる。その中心となる場所が(12区は)建設会社の旧事務所を借用している状態で、いつ使用できなくなるかもしれない。近隣の行政区との共有で使用できる施設を建設してほしい。民家を借り上げ、改造するのも一つの方法だと思う。上士幌の町民に欠けている町有施設を大切にすることにもつながる。(上士幌第12区)
- ・集会所の老朽化。(北居辺第2の2区)

### 【行政区活動の資金の減少・不足】

- ・9区行政区が自主的に行う恒常的な年間活動は、毎年度の定期総会にて事業計画及び予算を会員総意の下で決定している。その主なものとして、春は桜の花が咲く頃、秋は木々が落葉する頃に、アダプトプログラム登録の行政区内清掃活動を行っている。9区行政区内の国道273号線沿・サクシュオルベツ川沿・9区内公園等の飛散ゴミや落葉等の収集清掃活動に、高齢者から、幼児・小学生・中学生もお父さん・お母さんと一緒に参加している。このようなボランティア活動に会員の皆さんに楽しく積極的に参加してもらい、活動を停滞させることなく継続させていくために春は「花見・焼肉懇親会」もあわせて実施している。この懇親会は会員相互の交流懇親を深める好機であり、活動を休止している少年会に代わって奉仕活動に参加している幼児・小学生・中学生にオヤツが配布され、参加者全員に賞品が当たるビンゴゲームを行っている。しかし、秋に実施されるボランティア活動は、春に行われている懇親会のような、参加者が全員で楽しみ参加したい内容が計画されていない。それは第一に資金的なことが計画を立てにくくしている要因だと考えている。このことも、行政区活動における資金調達が課題となっている。(上士幌第9区)
- ・9区行政区は、会員の各戸から会費をいただいている。この会費は租税に等しいもので、その用途は会員全員が参加する総会で決定し、その結果は会員選出の監査役による領収書等の閲覧監査に付し、会計処理の透明化に配慮している。平成22年度からの新規事業として、小学校に入学する児童と中学を卒業する生徒に対して、「入学祝・卒業祝」として「図書券」を贈呈することとした。従前は行政区会計から少年会活動に助成金支援をしていたが、近年は行政区内の少年会会員の減少から、その活動を休止しており、この少年会助成金の衣替え事業として、児童生徒の健全な成長を願い、行政区会員全体の意思のもとに「入学祝・卒業祝図書券贈呈事業」を創設したところである。しかし、現下の会員高齢化に憂慮される対応や行政区活動の継続など、これから必要となることが予想される新たな行政区活動の資金確保は、近年の経済清勢から軽々に会費の引上げに求めることができない。働く現役者や自営業者、更には高齢者の年金生活の日常生活を取巻く経済環境に厳しいものがあると考えられるからである。早晚、会員高齢化に憂慮される対応として、積極的な奉仕活動協力者の活動が必要にして多くなるものと考えられ、それに対する謝礼金制度の創設が必要であると考えているが、資金の調達は困難なものがある。(町行政の積極的な行政区支援策に期待をする。)(上士幌第9区)
- ・活動資金等の減少・不足があり、年1回新年会として集まる程度である。(上士幌第15区)
- ・活動費について、いろいろな場面で支払いが多い。負担が多くなっている。(北門第2の2区)
- ・1年間の活動資金を各戸からの会費で行っている(が、資金が減少・不足している)。(勢多区)



## 【その他】

- ・共同募金、日赤、消防後援会、歳末、社協などの寄付、募金を個人から集めることが多い。(上士幌第2区)
- ・空家等の防犯対策、空室の活用策が必要。平成22年9月1日現在22戸(うち、農協関係4戸、上士幌高校関係4戸、一般住宅14戸)。(上士幌第3の2区)
- ・町内会未加入世帯の対応。平成22年9月1日現在3戸(うち1戸は同じ班の親族)。公平な業務執行とするには、全戸が町内会に加入してもらうことと考えるが、本人の都合(長期住むかどうか)等により加入しないようだ。平成18年度当初に行政区長としては、町行政に協力を願うために、広報等を持参し、又町内会活動についても、議案等を持参説明し、是非町内会に加入をと呼びかけたが、当時2戸加入し、現在は3戸が未加入となっている。新たに3の2区町内転入者でも、町内会に加入するように、町の担当者からお話があったので、電話による加入報告があった。(上士幌第3の2区)
- ・不在住宅の雑草等の除去。(上士幌第4区)
- ・道路および舗道の継目に生える雑草の除去。(上士幌第4区)
- ・会員数の増減は横ばいだが、新たに転居してきても、加入しない人が増えている。(上士幌第7の1区)
- ・過去50年を考えると道内では、炭鉱の閉山、国鉄の合理化・民営化、林業の衰退が見られ、上士幌も国鉄の合理化・民営化、林業の衰退により人口が半分以下になった。今後も減少すると思われる。このことから、行政区会員の減少、高齢化は仕方のないことであり、困ってはいても対策はないと思われる。(上士幌第12区)
- ・若い世代はみんな仕事を持っており、長期入居者は高齢化が進んでいるため、役員の改選が難しい状況である(上士幌第14区)
- ・財政の悪いとき、ぜいたくなことはできない。町民にそれを理解してもらうように、それとなく、説明することが大事と思う。アンケートの設問にも一工夫する必要がある。(上士幌第17区)
- ・(活動の停滞・縮小、活動資金の減少・不足があるが)区会員に負担がかからない交流などを行い、親睦を深めている。(清水谷区)
- ・大雪グランドホテルの老朽化による景観、不審火などの不安。(ぬかびら源泉郷区)
- ・環境省ビジターセンター建設に伴うひがし大雪博物館の閉鎖。(博物館の収蔵品の行き先、建物の今後)(ぬかびら源泉郷区)
- ・地上デジタル放送の受信。(アナログ終了までに視聴可能になると聞いているが大丈夫か)(ぬかびら源泉郷区)
- ・街灯がLEDになることについての具体的な内容が不明。(ぬかびら源泉郷区)
- ・廃屋の増加。(ぬかびら源泉郷区)

【問2】今後のまちづくりへのご意見・ご提案

**あなたの行政区の立場から、上士幌町の今後のまちづくりへのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。**

生活環境・基盤については、草刈りや害虫駆除、交通安全、公園や道路の整備・管理に関する意見などがあります。

【環境美化、環境保全】

- ・上士幌第3の2区の南側の防風保安林の活用について。現在防風保安林の指定状況はわからないが、保安林指定当時から相当数経過し、街の状況は都市計画等により変化しているため、（上士幌市街地区の東部に当たるが）近くの町民が自由に自然と親しむことができるよう環境整備できないものか。保安林のうち、南半分は間伐・下草刈等により環境は整備されているようだが、北側はどのように整備されるのかわからない。安全で経済的に美しい環境に整備し、一般町民が自由に利用できるような状況を考えてほしい。（上士幌第3の2区）
- ・町営駐車場の管理（草刈など）を適正に行ってほしい。（上士幌第4区）
- ・舗道のカラー舗装をしたレンガの継目から雑草が伸びている。市街地の中心街でこのような現象を見るのは街づくりの見地からもふさわしくないため対策を検討してほしい。（上士幌第4区）
- ・国道273号線沿のマツデンから勤労者会館に通ずる町道の間地点に交通安全施設がある。この交通安全施設には中央分離帯があり、2灯式の街灯が2基設置され、数本の樹木が植樹されている。この交通安全施設の維持管理は、町行政で行うべきと周辺住民は言っているが、樹木枝や雑草の伸びは放置状態である。一昨年からのマイマイガの大量発生の際には、この樹木に大量飛来し、付着した産卵が著しく、その除去や幼虫の駆除に大変不快な思いをしたようである。これ以前からも周辺住民の方が雑草等の繁茂を見かねて、やむなく枝の伐採や草刈を行っている。今日まで町行政はこの交通安全施設の維持管理に何の意思表示もない。この交通安全施設の周辺に居住する住民の方々は高齢化が進んでいる。今日まで何とか協力し合って樹木枝や雑草の刈取りを行ってきたが、今後は町行政で周辺住宅地環境を念頭に入れ、かつ適時適切に管理するよう要請する。（上士幌第9区）
- ・防犯灯のLED化。一昨年からのマイマイガの大量発生は、町民の日常生活において強い不快感を体感した。このマイマイガ対策を強く望む町民の声は、町行政にも届いていたことと思う。対策の一つに街路灯及び防犯灯のナトリウム灯への転換・LED化の声もあったと思う。本年度、市街地商店街の街路灯のナトリウム灯への転換事業が実施され、その効果はマイマイガの飛来防止減少に多大なものがあると認識した。（地域住民の卵塊除去や幼虫駆除に積極的に取り組んだ結果が大きな効果を生んだと評価している。マイマイガの飛来減少は幼虫期にウイルスによる死滅終息宣言だけではないと思う。）防犯灯のナトリウム灯への転換・LED化事業は、このようなマイマイガ対策だけのものではなく、エコ対策・環境政策の一環として積極的に取り組んでいると思う。新聞報道によると、十勝管内浦幌町では町内防犯灯の4割に相当する463台をLED化し、ランプ交換維持費の大幅な削減を図るとあった。本町でも本年9月議会定例会にぬかびら源泉郷の街路灯のLED化事業に係る予算が提案されたことに賛意を表したい。当9区行政区としては、このような政策を望んでいたところであり、地域住民の意見を取り入れた中長期的な計画を策定し、今後このような事業が町内住宅地の防犯灯で着実に実施されることを早期に検討していただきたい。（上士幌第9区）

### 【交通安全】

- ・道路の花づくりは道行く人の心をいやす一方、交通の危険場所も幾多ある。道路交差点の場合、家庭菜園、住宅の塀などである。見通しが悪く、ちょっと危険を感じる。(上士幌第14区)
- ・市街地を高速で走り抜ける車が後を絶たない。何か対策は打てないだろうか。(スピードダウンさせるための)凸凹舗装や取り締まりなど。(ぬかびら源泉郷区)

### 【道路】

- ・本町東仲通線道路の本舗装の早期完了を。(上士幌第3の1区)
- ・町道路の区画整理をしてほしい。(上士幌第7の2区)
- ・町道路の件について、職員と話をしたい。(上士幌第7の2区)
- ・町道路の舗装整備をしてほしい。(上士幌第7の2区)
- ・9区行政区内生活道路の砂利道の舗装整備。(上士幌第9区)

### 【公園】

- ・春・秋の飛散ゴミ・落葉等の収集清掃活動はボランティア活動として行うが、春から秋までの公園内草刈管理は従前同様に町行政で適時適切に実施継続するよう要望する。地域住民は、その作業状況をしっかり観察している。草刈の時期が適切か、作業効率がどうか、刈った草の処理は適切か、作業後の仕上がりが良いかなど。(上士幌第9区)

### 【公営住宅】

- ・町営住宅の単身者住宅、世帯住宅の建て替え。(ぬかびら源泉郷区)

### 【土地利用】

- ・旧阿部外科病院の土地活用等について長期的な立場で検討願いたい。(上士幌第4区)

産業については、イベントや道の駅、商業ゾーンに関する意見があります。

### 【観光】

- ・冬のウィンターバルーンの活性化。(北門第2の2区)
- ・町と商工会が一体となり、道の駅を検討してはどうか。(上士幌第15区)

### 【商業】

- ・上士幌町は小さな商店が多いが、子どもや老人も集まれる商業ゾーンを考えてはどうか。(上士幌第15区)

福祉については、高齢化への対応に関する意見があります。教育については糠平小学校の存続が求められています。

### 【高齢者福祉】

- ・独居老人が増えている。(上士幌第2区)
- ・少子高齢化が進む中で、特養施設の拡充を図り、高齢者や障がいを持つ方の受入を容易にする対策が必要と思われる。(上音更小、東居辺小学校の跡地利用)(上士幌第7の1区)
- ・高齢化が進み、何もしていない老人が増えている。町内には幾つかの老人クラブがありそれぞれ活動をしているが、入会者が少ないようだ。高齢になると脱退していくのは当然だが、会員が年々減少しており、全道及び日本全体でこの傾向にあるようだ。老人と言われるのに抵抗があるから入会者が少ないので、老人クラブに代わる名称がないか町民に募集してみてもは。(上士幌第16区)
- ・高齢者在宅訪問を実施しているが、個人のプライバシーの問題でよく把握できない。帯広市では、

高齢者宅を訪問し介護の状況を聞き取り台帳化していくようである。当町においても実施してはどうか。(上士幌第 16 区)

#### 【教育】

- ・糠平小学校の存続。(ぬかびら源泉郷区)

行政区などコミュニティについては、未加入者の増加、活動への補助、行政区の再編・統合、行政区名の表記に関する意見があります。

#### 【行政区未加入世帯】

- ・(行政区に未加入の世帯には) 広報など個人配布をしているが、会員と比べると不平等に思われる。(上士幌第 2 区)
- ・行政区に入らない人が出てくる。(上士幌第 2 区)

#### 【行政区活動への補助】

- ・9 区行政区では、高齢者宅のマイマイガ除去など会員の積極的な奉仕活動協力者に対する金銭的な謝礼の先例がなく、資金の調達方策もない。ただただ、町内会総会等において、区長から謝辞を述べて奉仕活動協力者に対する感謝の気持ちを表してきた。このような会員の積極的な奉仕活動協力者に対して、金銭的な謝礼をもって当 9 区会員全体からの謝意を表したいと考えており、その資金調達に行政的支援方策の検討を願う。(上士幌第 9 区)
- ・早晚、会員高齢化に憂慮される対応として、積極的な奉仕活動協力者の活動が必要にして多くなるものと考えられ、それに対する謝礼金制度の創設が必要であると考えているが、その資金の調達は困難なものがあると考え、町行政の積極的な行政区支援策に期待をする。(上士幌第 9 区)
- ・16 区町内会は、アダプトプログラム(里親制度)、16 区ボランディア部会、小地域ネットワーク活動推進事業、16 区元気クラブを平成 17 年 4 月から活動をスタートしている。また、現在は災害支援ネットワーク事業、16 区自主防災組織(仮称)を結成するため準備を進めている。町のサークルに参加していない人も多数いるため、16 区元気クラブはお年寄りとの交流を目的に 65 歳以上を対象に年 3 回会費無料で全員で作った料理で食事会、ソバ打ち指導者によるソバ打ち体験、健康講話、賞品を準備したビンゴゲーム、スマイルボーリング等で 1 日を楽しんでいる。10 月は町内会より一部補助し町外に移動している。以前、小地域ネットワーク活動推進事業で補助金を受けていたが、今は受けられない。再度補助金を受けられるよう検討願いたい。(上士幌第 16 区)

#### 【行政区の再編・統合】

- ・行政区画の整備をしてはどうか。(上士幌第 11 の 1 区)
- ・人口の減少にともない、行政区を統合すべきと思うが、メリットもデメリットもある。メリットは会員の増加により活動や資金面で良いかと思う。しかし、デメリットは役員の方の広報配布等が大変と思う。(上士幌第 15 区)
- ・地区での集約、集合が必要。いろいろな組織の集約化を進めてほしい。(北門第 2 の 2 区)
- ・(農協と共に) 行政区の再編、集約化。(北門第 2 の 2 区)
- ・行政区の区割りを見直し、改革の準備を行政にお願いしたい。(上音更第 2 の 2 区)

#### 【行政区名の表記】

- ・行政区名の整備をしてはどうか。(上士幌第 11 の 1 区)
- ・住所の表記について。上士幌町外の人に住所を尋ねられて説明しても、東〇線〇〇番地、13 区など、理解してもらえない。正直、自分もどこが〇区か分からない。もっと分かりやすくないか。(上士幌第 13 区)

そのほか、議会や行政運営（まちづくり全体）のあり方などに関する意見があります。

#### 【議会】

- ・議会のチェック機能をより強化するため、議会議員の監査委員を廃止する。（上士幌第 12 区）
- ・議会の活性化について、避けて通れない意識の改革が求められる。他町村では、議会の活性化について様々な取り組みが進んでいる。参考にしながら、現況の問題点と今後に向けての行政と議員が真剣に議論をしていただきたい。行政も積極的に議員の意見を求めるべきで、そうでなければ良い町づくりは空論となる。（上士幌第 12 区）
- ・町議会議員の報酬を日額制にする。（上士幌第 12 区）

#### 【行政運営】

- ・本町の将来像が見えてこない。これまでの政策（施策）の総括が出来ているのか。第一次産業をどうするのかなど。ナイタイ高原牧場の位置づけと展望は見えていない気がする。（上士幌第 4 区）
- ・経費の削減につとめ、町有地、財産の利活用、又は貸し出し、売却をする。（上士幌第 12 区）
- ・事業予算は、特別なものを除き、小額なものはやめる。お金(予算)は、大きく使うことで成果がある。小額をばらまくと成果は上がらない。（上士幌第 12 区）
- ・補助金、交付金を見直す。（上士幌第 12 区）
- ・区長手当は半額、非常勤各種委員も日額制にする。（上士幌第 12 区）
- ・かねがね行政区長連絡協議会の席上、町長に要求してきた地区別町政懇談会が開催されることになったことは、「町長との対話」に変わった経緯を知る者として評価したい。以前は議会も町政懇談会も課長だけの出席で、課長は良く勉強し、現場を知っていて言葉に説得力があった。積極的に市民の中に入ろうと努力している帯広市長を手本にしてほしい。（上士幌第 12 区）
- ・今後の町づくりを考える時、少なくとも過去 50 年の総括が必要。現在の閉鎖状況を変えるには、これまでのような総花的な長期計画では特徴のある個性的な町づくりはできず、計画性がないため生活基盤整備等が非常に遅れている。例えば、幹線以外の道路が簡易舗装で、毎年砂袋を穴に埋めて対応しているが、今後ますます状況がひどくなり、本舗装が必要となり、当然路床工事からやり直しになる。他町村は、町づくりの目標と計画を基に、住民との対話を行うことで、着実な生活基盤の整備と福祉、産業振興を図っている。上士幌町は過去 50 年の中で独自の産業が何れも振興に繋がらず、お金と年月の浪費となった。現在もナイタイ高原牧場の様に毎年億前後の赤字を出しながら何年続けているのか。この様な場合民間では解雇や辞任という厳しいものとなる。机上の事務は他町村に比較して劣っているとは思えないが、調査研究が甘く、現場状況を把握しないまま独善的に進めたことから起きたものである。事務レベルが一定以上である上でだと思いが、北海道知事も現場主義に徹せよと職員を諭している。私達の先輩には、バランスに優れた人物がいたが、残念なことに後継者を育てなかったことが上士幌町にとって大きな損失であり、あるべき職員像が見えなくなり、手本がなくなった。後継者を育てるべき時の上士幌町の風土も原因となっている。今後は第一に官民共にバランスのとれた人材を育てるべきと考える。そのためには、閉鎖的な風土を改め、優秀な人材を求めるべき。（上士幌第 12 区）
- ・町もいろいろなことに努力していることには敬意を表する。（上士幌第 15 区）

#### 【移住・定住】

- ・活力あるまちづくりには、若齢者の定住が欠かせない。若者が希望を持って働ける住環境と労働環境を、行政と町民が協力して構築していくことが求められる。（ぬかびら源泉郷区）

#### 【その他】

- ・近所間の付き合いが疎遠になっている面が見られる。町内会の活動の中で情報を得る部分も一部あるが、民生委員の活動は重要であり、待遇面も考慮しながら活動の強化を図ってはどうか。（上士幌第 7 の 1 区）

## 4 調査票

# まちづくり行政区アンケート

あなたの行政区について、お聞かせください。

行政区名	
記載される方のお名前と役職	ご氏名 [役職 : ]

【問1】 あなたの行政区で、現在困っていることや悩んでいることは何ですか。  
あてはまる項目に○をつけて、具体的な内容をお書きください。

※複数選択されても構いません。

1. 行政区会員の減少・不足
2. 行政区会員の高齢化
3. 行政区活動の停滞・縮小
4. 行政区活動を行う施設（集会所、公園等）の不備、不足
5. 行政区活動の資金の減少・不足
6. その他（ )



※1～6で選択された内容についての、具体的な内容について簡単にご記入ください。

裏面もよろしく  
お願いします。



【問2】あなたの行政区の立場から、上土幌町の今後のまちづくりへのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。



ご協力ありがとうございました。

返信用封筒（※切手はいりません。）に入れ、平成22年8月31日（火）までにご返送ください。